

# 2024年 世界共生学科 地域創生科目 ネパールプログラム 第2回

酒井萌花 木村莉子 神野愛唯 原田美優 松本光



## 教育問題

### 教育制度

1から8年生（5歳～12歳）が無償の義務教育期間  
中等教育は9年生から12年生（13歳～16歳）。

### 課題

- 所得格差
- インフラ整備
- 教室環境
- 地理的格差

### 実態



◀低学年クラスの教室  
教室環境の深刻さ。  
ローテーブルに座布団、黒板の代わりには小さなホワイトボードで授業をするスタイル。

高学年クラスの教室▶  
机や椅子の老朽化。  
電気はなく窓を開けて日の光で明るさを保っている。



◀ペンキ塗り活動  
小学校の壁のペンキを塗り直し綺麗にする活動をした。



before after



### 感想

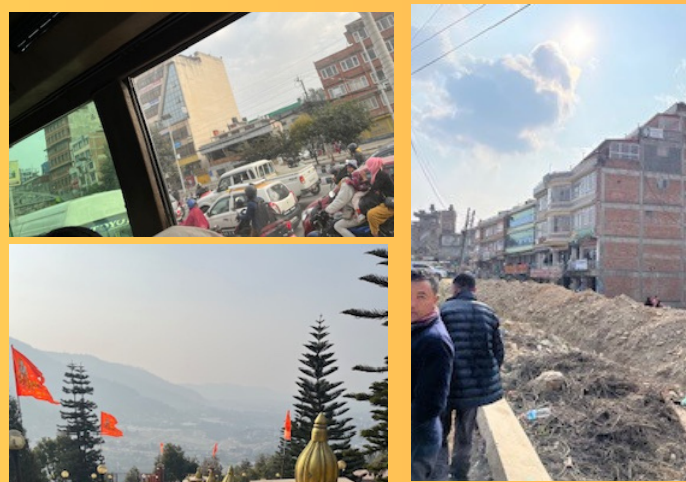
今回現地の小学校へ行き子供達と交流しながらネパールの教育問題に関する様々な実態を知ることができた。教員の方にインタビューする中では地理的格差や所得格差による生徒たちへの影響があることを述べていた。また、教員本人達の所得の問題もある中で子ども達により良い教育が与えられることを願っていた。学習意欲があっても教育が受けられない子が多くいる事を知り、今後ネパールの教育問題が改善されてほしいと強く感じた。



## 環境問題

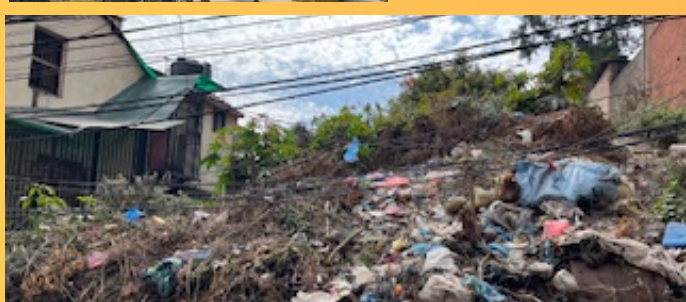
### 環境問題の課題と改善策

- ①排気ガス・砂埃が多い  
→・アスファルトやコンクリートで道を整備する  
・排気ガスを排出しない移動方法を導入する
- ②ゴミをポイ捨てする人が多い  
→・学校教育の中で環境問題について学ぶ時間を設ける



### 課題を解決していくことで..

- ・住民の健康状態の向上が期待できる
- ・街に溢れるゴミの量が減少する
- ・より多くの人々がネパールで健康に、快適に生活できるようになる！



### 感想

ネパールはこれからも経済発展を遂げていくので、更なる近代化に備えて衛生環境を整えていくことが重要だ。ネパールには独自の伝統文化と雄大な自然が存在するので、環境整備が進めばネパールはさらに魅力的な国へと変化していくだろう。



## 女性支援

女性が自宅で作った商品を売るお店

支援団体の協力のもと無料で開催される技術講習会

### 支援内容

- ・自宅での制作物を売れる場がある
- ・無料講習会で技術を学ぶ場が提供されている

### 目的

- ・商品を作って売り少しでも収入につなげるため
- ・技術習得によって支出を減らすため



### 講習会参加者の声

- ・講習会は楽しい
  - ・収入を夫だけに頼らないようにしたい
- Q幸せを感じる時は？  
目標を達成したとき（生徒）  
生徒が上手に作れた時（教師）



### 感想

人々が自分で収入を得ることができるよう支援されていると感じた。ただ金銭的支援をするのではなく、スキルアップ支援をすることが貧困解決には必要だと感じた。



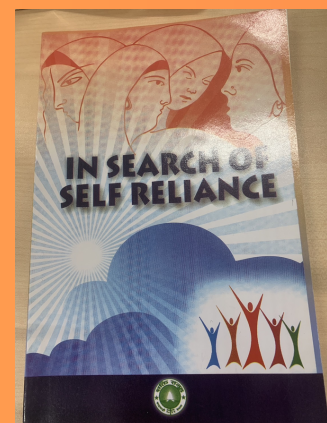
## 人身売買

### 人身売買の概要とネパールにおける現状

人身売買とは、暴力など強制的な手段で自由を奪い、搾取すること（田中、2017）。性的搾取も人身売買に含まれ、多くの少女や女性が「性的奴隷」として被害を受けている。少年や男性も被害を受けている。昨年、ネパールでは35000人が人身売買の被害を受けた。ネパールの人身売買の主な原因として移住労働の歴史や貧困が影響している。特に、都会と田舎、ネパールとインドとの経済格差があり、ネパールの田舎に住む少女や女性たちがカトマンズやインドの都市で「売春婦」として性的搾取されるケースが多かった。1996年頃は、人身売買に関する人権意識が薄く、単に「出稼ぎをしている」という認識が強かった。また、社会から人身売買被害者は「売春婦」、「好きでやっている」などと社会から冷たい視線を浴びた。団体の働きかけにより、現在は人身売買は「人権問題」の1つとして認識され、意識の変化もあった。また、人身売買の被害者も減少している。その一方、グローバル化やインターネットの普及により、SNSを通してタンザニアなどより被害範囲の拡大や人身売買の被害者を生み出しやすいという現状もあり、課題は残っている。

### 当事者支援団体シャクティ・サムハについて

ネパール語で「力強いグループ」を意味し、人身売買サバイバーたちが尊厳を持ち、社会で生きるためにエンパワーされることを目的としている当事者団体である。主な活動として、人身売買サバイバーの就職支援や収入向上のための技術支援、シェルターと支援基金の提供、人身売買防止のための啓発活動、政府への呼びかけなどがある（田中、2017）。2016年現在、500人以上の被害者がシャクティ・サムハに登録している。



### 感想

日本でも人身売買に関する本から人身売買サバイバーの経験談を読んでいたため、事前にどのような被害を受けたのか知っていた。しかし、今回サバイバーの方から「親しい人から拉致され、性的奴隷として無理やり働かされた。逃げようとしてもできなく、自殺を図ったが死ねなかった。」という話を直接聞いて、衝撃を受けた。今回訪問し、被害者から直接話を聞いたことで、「遠い国の話」がより身近に感じられ、自分の中でも意識変化があった。



## 街の様子

### 交通面

バイクの数がとても多い  
追い越しといった危険な運転  
横断歩道や信号が少ない  
歩行者の道路の横断が危険  
バスが突然動かなくなることも  
→交通面にさまざまな課題

### 整備面

道路の整備がされておらず不安定  
工事をしている様子も何度も見かけた  
石が多く凸凹で歩きづらい道も  
電線のケーブルが無造作  
→インフラ整備が行き届いていない

### 衛生面

水回りの清潔さがあまり無い  
トイレが流れづらいことも  
→人々の健康にも関わる

### 家の建設

建設をする際に使う足場が不安定  
→安全のための設備が必要



### 感想

どこをとっても日本とは全く違う光景が広がっているため、とても新鮮な気持ちで毎日を過ごすことができ、どれも貴重で良い経験となった。また、こういった課題点だけではなく、ネパールの歴史ある美しい街並みを楽しむことも出来た。

